

全国 保健師長会 だより

北関東・甲信越ブロック 研修会報告

「日頃の実践活動からの学びを大切に」

9月26日、栃木県栃木市役所本庁舎において平成27年度のブロック研修会を実施しました。9月上旬に茨城・栃木を襲った水害の被災者支援活動が終息していない時期であったため、一時は開催延期も検討しましたが、関係者の皆さまのご厚意もあり、予定どおり開催させていただきました。そのよくな状況にもかかわらず、当日は7支部から110名と大勢の方々が参加してくださいました。

開会後の来賓祝辞では、栃木市保健福祉部長の奈良部俊次様から今回の水害時の栃木市内の状況の

北関東・甲信越ブロック研修会報告および 平成27年度新潟市支部研修会報告等

全国保健師長会 会長 鎌田 久美子

お話とともに、われわれ保健師へ温かなエールをいただきました。

午前中は、全国保健師長会調査研究班員である三重県名張市の西郷知子氏から「ソーシャル・キャピタルの醸成にかかる保健師の能力形成に関する研究」についてのご報告をいただきました。また、地元自治体の活動紹介として栃木市健康増進課の松長幸子氏から栃木市の保健活動の紹介がありました。

本ブロックでは、「日頃行っている実践活動を大切にし、そこから学びを広げていきたい」との思いから、平成25年度以降各自治体の先進的な活動や人材育成、統括保健師の役割等に関する事例を集めて「実践活動事例集」を作成しています。午後の研修会では、その中から、



北関東・甲信越ブロック研修会の様子

長野県長野市保健所の「現任教員と統括保健師の役割に関する事例」、茨城県筑西保健所の「関係機関との連携による妊産婦支援の事例」、そして栃木県安足健康福祉センターの「子どもの頃からの生活習慣病予防事業の事例」の3事例のご報告をいただき、参加者からは、とても参考になる事例だったと好評でした。

続いて行われたグループワークでは、今回の研修内容を材料に

26年度から自主研修会（以下、「研修会」という）にも取り組んできましたので、報告いたします。

平成26年度の定例研修会では、日本看護協会常任理事の中板育美氏から「保健師活動指針の改定を受けて～新潟市の保健師が取り組むことを考えよう～」と題して講演会を開催しました。研修後、「分散配置の中、保健師全体で今後の保健師活動について話し合いたい」という意見が多く聞かれたことから、「保健師活動の課題、めざすべき方向性の共有」と「保健師間の顔の見える関係づくり」を目的に、統括保健師と当支部で研修会を企画し開催しました。



新潟市支部活動報告会の様子

研修会は、平日の業務終了後の時間帯とし、9月11月に月1回ずつ3回行いました。初めての試みでし

たが、各世代にわたり118人（参加率80%）、延べ243人の参加があり、こうした研修会の必要性を感じていただ我想われます。

研修会はグループワークを主として、グループ分けは年代別やくじによる編成など毎回変えることで、より多くの保健師と話せる機会をつくりました。地域の健康課題をとらえ、住民や関係機関と課題を共有し、その解決のための連携や必要な施策立案、予防的視点に立った活動など保健師本来の活動にどう取り組むかを考えることができました。その際、世代に関係なく「新潟市の保健師としてよい活動がしたい」という思いが共通していることを実感でき、今後の保健師としての資質向上のためのモチベーションアップにつながるものと思われました。

グループディスカッションは「新潟市の保健師としてめざす活動とは」をテーマに行い、統括保健師と当支部役員が中心となりすべての意見をカテゴリー化し、関連図にまとめました。可視化することによって、全保健師で共有するとともに日頃の活動の指針とし

全国保健師長会会員数等の 動向について

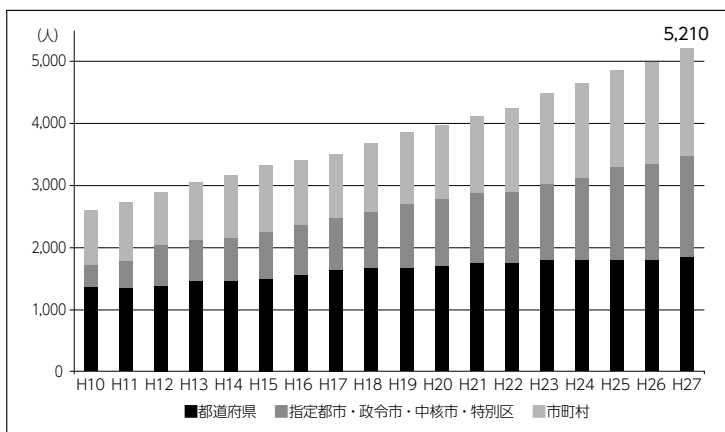
ています。平成27年度は、「めざす活動」のひとつである「PDCAサイクルを回した地域活動の展開」をテーマに、PDCAサイクルに基づく地域診断から評価・改善までの保健活動の展開を考え、保健師間でさらに顔の見える関係をつくっていきけるよう、10月から3回の研修会を開催しています。

これからも、保健師間のつながりを強くし専門性を高め、新潟市がよりいっそう健康なまちになるよう、住民のための保健師活動を推進していききたいと思っています。

（文責＝新潟市支部長 伊藤由香）

全国保健師長会の会員は、年々増加しており、平成27年8月末現在の会員数は、5210人で昨年度より214人増加しました（図）。会員数に占める各支部の内訳は、都道府県支部会35.4%、指定都市・政令市・中核市・特別区支部会31.3%、市町村支部会33.3%とほぼ同じ割合ですが、指定都市・政令市・中核市・特別区支部会および市町村支部会の割合が少しずつ増加し

図 全国保健師長会会員数の年次推移



ています。全国保健師長会では、平成27年度は「社会の課題に向き合う保健師活動の展開」をテーマに、全国の保健活動の情報と活動に必要な最新情報の提供、活動の質の向上をめざした研修会開催、調査研究などの事業に取り組んでいます。全国の保健師が連携し、より充実した活動ができるよう、ぜひ多くの皆さまのご加入をお願いします。

（文責＝広報委員会）

平成27年度新潟市支部 研修会報告

（文責＝北関東・甲信越ブロック理事 五月女祐子）

新潟市は人口約80万人、8つの区からなる政令市です。保健師は149人で、地区担当制をとっています。新潟市支部では定例で年2回の研修会を開催し、保健師の資質向上を図ってきました。平成

グループ内で活発に意見交換が行われました。県内外の方々との意見交換は貴重な機会であるため、できるだけ多めに時間配分をしましたが、どのグループも話が盛り上がり、所定の時間があっという間に過ぎてしまいました。

最後に全国保健師長会の菊間博子副会長から研修会のもとめと全国保健師長会の活動についてのお話をいただき、研修会が終了しました。参加者のアンケートでは、「研修会に参加して、もう一度日々の活動を振り返り、頑張ってみようという気持ちになった」という声が寄せられ、皆さまからたくさん元気な声が届いた研修会となりました。